



Smile Woman! インタビュー 39
この人の仕事のカタチ
どこか聞いてみる「仕事」をしているあの人にズームアップ。

女性の悩みを解決し、 地域に根ざした医療を

東山のふもと、閑静な環境の中に「しな子レディースクリニック」（岡山市中区湊）はある。豊かな緑と水に囲まれて、春には大池のほとりで見物が満開になる。

院長の荒木詞奈子先生はアメリカに留学した後、病院での勤務を経て、今年2月にクリニックを開業。診療科目は産婦人科、皮膚科、泌尿器科で、女性の悩みを解決し、地域に根ざした医療を目指している。

生涯の仕事として医学の道へ

医療を志したのは、両親が医者であったこともあるが、それ以上に自分自身の生涯の仕事として医学の道に進んだそう。様々な科目の中で女性であることが生かせると考え産婦人科を選んだ。皮膚科や泌尿器科を併設しているのは、女性ならではの様々なカラダの悩みを総合的にケアしてあげたいという思いから。なかなか相談しにくい悩みでも気軽に来院してもらいたいという配慮である。

病院に勤務している時から「受診することに抵抗がある、恥ずかしい、そんな方に、来院しやすくしてあげることが、患者さんのためになる」と感じていた。「最初は専門的な治療よりも、幅広く診療することが大切。気軽に女性が悩みを相談できるようクリニックにした

しな子レディースクリニック

荒木 詞奈子 院長

い。それが荒木先生が目指す女性による、女性のための地域医療である。

家族とのコミュニケーション大切に

女性のための医療の専門家である荒木先生も、家に帰れば4歳と6歳の娘さんを持つ母親である。医師であるご主人と協力して子育てにもしっかり取り組んでいる。休みが取れば、家族揃って旅行に行くことが多い。忙しい仕事のなかでも、なるべく時間を作り、家族とのコミュニケーションを大切にしている。娘さんたちと一緒にピアノを演奏するのも、気分転換になっているようだ。

今後の夢は、「地域の女性が気軽に来院でき、穏やかな気分で帰れる、明るいクリニックにすること。患者さんが来てよかったですと言っていただけよう頑張ります」と、荒木先生は女性のための地域医療を強調する。

